

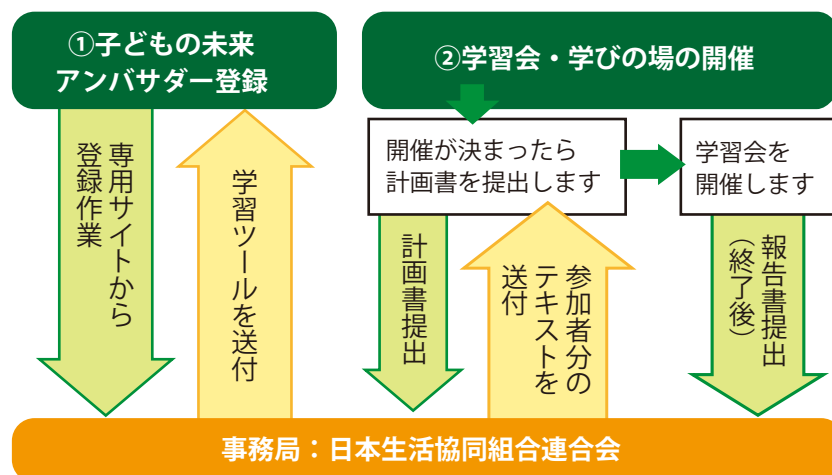


## 子どもの未来アンバサダー登録受付中

1. 子どもの未来アクションでは、活動の趣旨に賛同し、地域で学習会・学びの場作りに取り組む個人・団体の皆さんを「子どもの未来アンバサダー（以下アンバサダー）」と位置付けています。
2. アンバサダーとして登録いただくことで、地域で学習会・学びの場を開催し、講師役をになっていただけるよう、次のような支援を行なっています。

- (1) 学習ツールの無償提供
- (2) メールニュースの配信（同アクションの取り組み状況、子どもの貧困に関するイベント情報等）
- (3) 学習会の開催に関する支援・アドバイス
- (4) 活動交流会の開催

### ●アンバサダー登録後の活動イメージ



### ●アンバサダー登録はこちらから

個人登録と団体登録の2通りの登録があります。  
専用インターネットサイトの「子どもの未来アンバサダー」紹介ページからお申し込みください。



☞ <https://miraiaction.org/ambassador.html>

●問合せ●

日本生活協同組合連合会 組合員活動部

電話：03-5778-8124

メール：miraiaction@iccu.coop

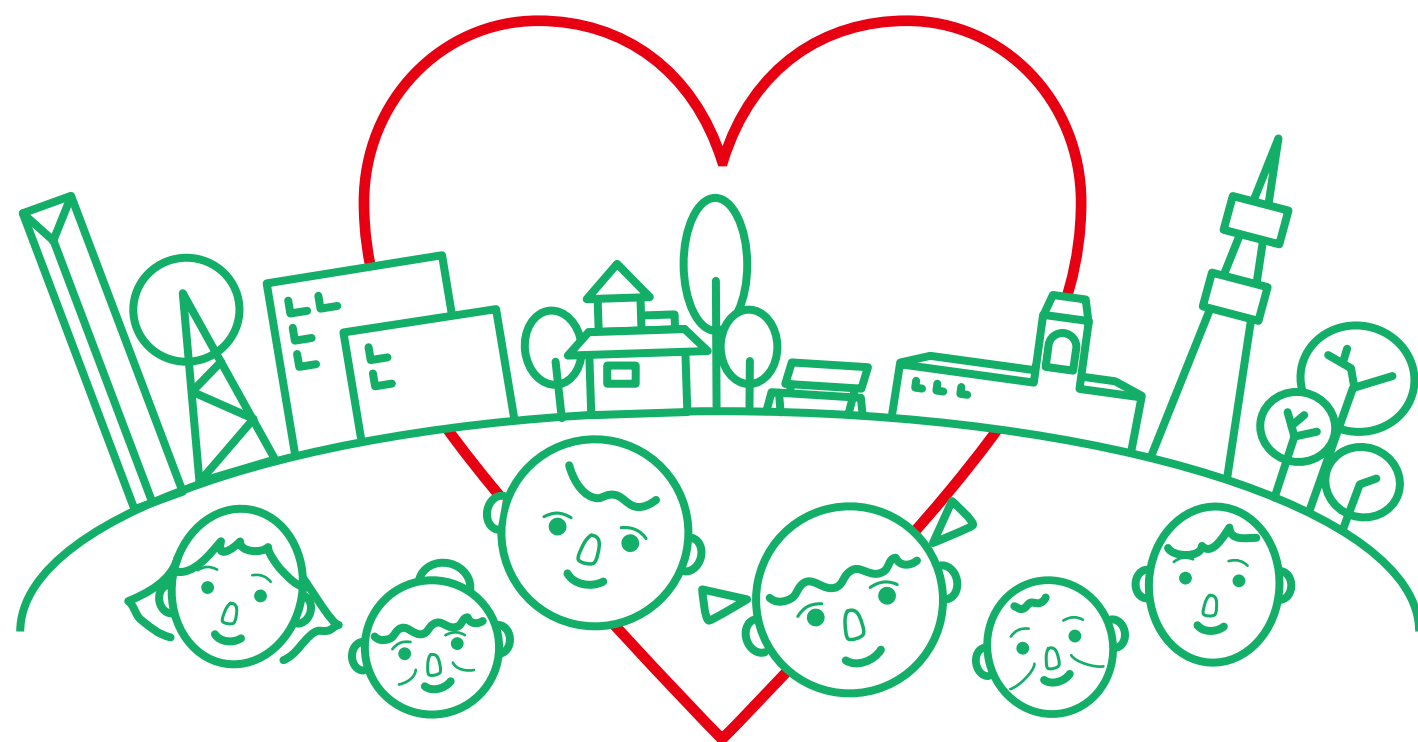
紹介ページ  
QRコード

### 子どもの未来アクション 学習ツール

- ①学習テキスト  
A5サイズ冊子
- ②学習教材動画  
・3つの実践活動  
・2つの専門家インタビュー
- ③学習スライド  
パワーポイントのスライドデータ
- ④学習会の手引き  
・アンバサダーサポートブック  
・学習会開催手順 ・開催方法  
・学習時間ごとのモデル提示
- ⑤アンバサダー専用ページ



# 子どもの未来 アクション



## 知ることから、学ぶことから、始めましょう

「子どもの未来アクション」は、  
貧困をはじめとする子どもの問題を社会の問題としてとらえ、  
学び、考えることから、共感の輪を広げていく運動です。

子どもの未来アクションでは、  
推進検討委員会を設け、  
子ども子育てをめぐる問題に取り組む皆さまと、  
広くつながりながら、  
運動を進めてまいります。

【賛同団体】 公益財団法人あすのば/NPO法人子育てひろば全国連絡協議会/一般財団法人児童健全育成推進財団/一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク/社会福祉法人全国社会福祉協議会/「なくそう!子どもの貧困」全国ネットワーク/NPO法人日本冒険遊び場づくり協会/公益社団法人日本フィランソロピー協会/公益財団法人日本ユニセフ協会/「広がれ、こども食堂の輪!」推進会議/NPO法人チャイルドライン支援センター/一般社団法人日本協同組合連携機構(JCA)/日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会/一般社団法人全国労働金庫協会/全国大学生協同組合連合会/全国労働者共済生活協同組合連合会(こくみん共済coop)/日本医療福祉生活協同組合連合会/日本コープ共済生活協同組合連合会/労働者福祉中央協議会

【後援】 内閣府/文部科学省/厚生労働省

【助成】 社会福祉法人中央共同募金会「赤い羽根福祉基金」助成事業

【主催】 日本生活協同組合連合会 電話:03-5778-8124 FAX:03-5778-8125 メール:miraiaction@iccu.coop



この事業は、社会福祉法人中央共同募金会「赤い羽根福祉基金」助成事業です

発行日 2019年7月31日



# 子どもの貧困問題、それは、私たち大人の問題、社会の問題でもあります。

子どもの貧困問題、それは、私たち大人の問題、社会の問題でもあります。

7人の子どものいれば、そのうち1人が貧困状態にあるといわれ、

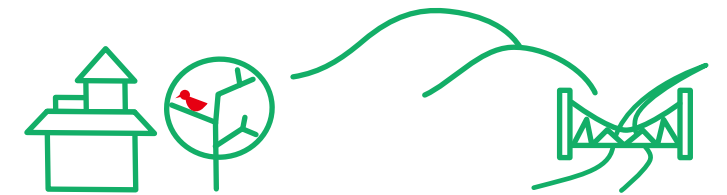
日本の子どもの貧困は、世界的に見ても深刻な状態です。

「私の周りには、そんな子はいないと思うけど…」という声をよく聞きます。

人々のつながりが薄くなる中で、困難を抱えて孤立した子どもたちがいます。

一方、これまでの様々な実践から、地域での助けや、見守りが、子どもたちの力になることも分かってきました。

この問題への理解を深めることで、一歩ふみ出しましょう。



## 子どもの未来アクションは…

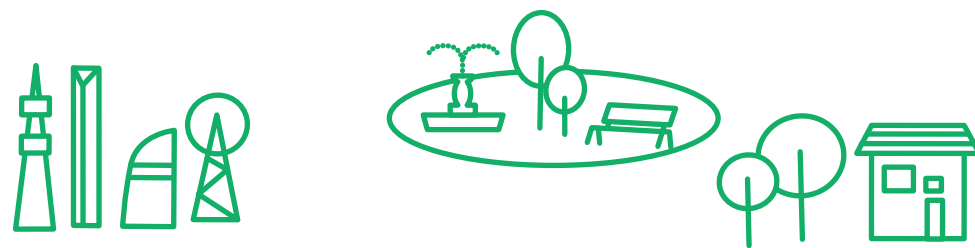
### 子どもの貧困問題について

### 地域で学ぶ機会を創出し、理解を広げます。

学習会の開催を進め、理解と共感の輪を広げます。

身近な地域の問題として、考える人、応援する人、支援する人を増やします。

様々な立場の人たちと、ネットワークを築きながら子どもの貧困問題に取り組みます。



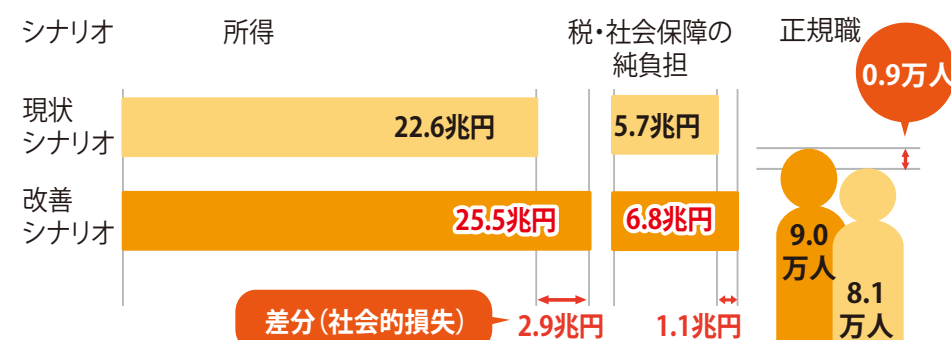
## 子どもの貧困に着目する理由

### ●子どもは「生まれてくる環境」を選べません

どんな環境にあっても、子どもたちが希望が持てる社会をつくることは、私たち大人の責任です。社会を担う一人ひとりが、地域の中でつながりながら、子ども・子育ての問題に関心を持ち、向き合うことが求められています。

#### ■子どもの貧困がもたらす社会的損失

(現在15歳の1学年のみで、生活保護世帯や児童養護施設、ひとり親世帯の子ども約18万人を対象に推計)



出典：日本財団・三菱UFJリサーチ & コンサルティング「子どもの貧困社会的損失推計レポート 2015年12月」より作成

### ●子どもの貧困は「貧困の連鎖」を生み出します

貧困によって子どもたちの可能性が狭められることは、子ども自身にとっても、社会にとっても、大きな損失です。貧困状態は世代間の連鎖を生じさせます。いま、「貧困の連鎖」を断ち切ることが求められています。



出典：「子どもの貧困ハンドブック」かもがわ出版刊より

### ●「より良い社会」を子どもたちに渡すことは、大人の役割です

子どもは、大人や社会によって育まれる存在です。子ども自身が貧困から抜け出すことは困難です。子どもの貧困は、子どもや家庭だけの問題ではなく、社会全体の問題として捉えなければ改善されません。

見えにくい子どもたちの貧困が地域の課題になっています。

